

次世代の発展を見据えた

公園整備を進めています。

上鏡田公園
築造予定地の現状



上鏡田公園整備計画（イメージ図）

◎問い合わせ 都市整備課 ☎0561・56・0748

東郷町の公園の現状

東郷町にある全ての公園の面積を足すと、約29万㎡となります。

その中でも境川緑地や涼松緑道、清水公園など大きな公園は、「都市公園」として位置づけられています。国が示す住民一人当たりの都市公園の基準面積には届いていません。

また、都市公園を含めた全ての公園を合わせても、国が示す基準面積を下回っています。

◎住民一人当たりの都市公園の面積

国が示す基準	10.00㎡
都市公園合計	4.93㎡（令和元年度）
町公園総計	6.59㎡（令和元年度）

安心して過ごせる公園を！

町の将来の方向性を定める第6次東郷町総合計画を策定する際に行った住民意向調査では、「みんなが集える公園がほしい」「子どもたちや親子で安心して遊べる公園がほしい」などの意見が寄せられました。

町民の皆様の思い描く東郷町の将来像の実現に向け、誰もが安心して利用できる公園整備を進め、令和3年度には、「こんな公園があったらいいな」という思いが詰まった公園「上城さくら公園」を開園し、多くの方々に親しまれる公園となりました。

そして令和4年度は、涼松緑道の南東に、トイレや日陰などを整備した誰でも過ごしやすい、さらにはグラウンドゴルフやバスケットボールなどができる公園として「上鏡田公園」の整備を計画しています。

なぜ公園が必要？

公園と聞くと多くの人が「子どもたちが遊ぶ場所」や「休憩場所」をイメージするのではないのでしょうか。

しかし、それ以外にも次のような重要な役割があります。

【選ばれるまちになる】

『住みたいまち』を選ぶ各種調査では、「大きい公園がある」「たくさん公園がある」など、公園に関する回答が必ずと言っていいほどあり、特に子育て世代の方たちの中では住みたいと思う条件の上位にランキングされる項目となっています。住みたい・訪れたいと思ってもらうには、住環境において公園の存在が大きく影響していることがわかります。

本町が公園を整備することで人々から選ばれるまちになることで、人口増加やそれに伴う福祉の向上など、次世代の発展につながっていくと考えられます。

【災害時の拠点施設】

大地震などの大災害が発生したときに、一時的に避難できる場所として、また、救援の拠点や仮設住宅の設置などに公園の広いスペースを活用することができます。

30年以内に発生する確率が70%とも言われる「南海トラフ地震」などの災害に備えておく必要があります。



上鏡田公園築造事業の予算議案を議会に提出 ⇒ 残念ながら2度とも**否決**されました

上鏡田公園とは？

東郷町の西部に位置する上鏡田公園の整備予定地は、平成9年に都市計画で「公園をつくる場所」として定められたにもかかわらず、これまで公園の整備が全く行われず、現在は2ページの写真のように雑木林となっています。

この都市計画を基に、町民の皆様のご意見を踏まえつつ、誰もが安心して過ごせる公園の整備に取り組んでいます。

【上鏡田公園の整備に向けた取組】

1) ワークショップで公園の青写真を作成

公園は「まちづくり」にとって重要な存在であり、住民ニーズも高い施設であることから、令和元年度から令和2年度にかけてワークショップを子どもから大人まで参加いただいて開催し、幅広い層の皆様にご意見・ご協力をいただきながら公園整備計画を進めてきました。

2) 5月臨時議会で予算議案否決

ワークショップでのご意見を反映した「上鏡田公園築造事業」の予算議案を令和4年5月臨時議会に上程しましたが、賛成少数で**否決**されました。

【主な反対意見】

- ・ワークショップだけでなく、もっと多くの地域の皆さんの意見を、アンケートを行って聞くべき。

3) アンケートを実施

地域の皆様や子どもたちなど多くの皆さんにアンケートを実施した結果、ご回答いただいた人の95%が「現計画のような公園をつくっていききたい」と回答されました。

《アンケート対象》

兵庫小学校および音貝小学校に通う児童とその保護者、部田山老人クラブおよび白土老人クラブ

4) 9月議会で予算議案否決

アンケートでいただいたご意見などを反映した補正予算議案を上程し、整備計画を議員の皆さんに詳しく説明しましたが、賛成少数で**再び否決**されました。

【主な反対意見】

- ・物価上昇傾向にある中、緊急性の低い事業は進めるべきではない。
- ・従来の里山的自然環境が変わる。地元からの整備要望はないのでは。
- ・維持管理をどうするか十分に考えてほしい。

POINT ワークショップとは？

ワークショップとは、あるテーマを基に参加者それぞれが考え、お互い協力し合って話し合うスタイルのミーティングのことです。

今回は、地域の皆様にご参加いただき、どのような公園にしたいかなどを話し合いました。

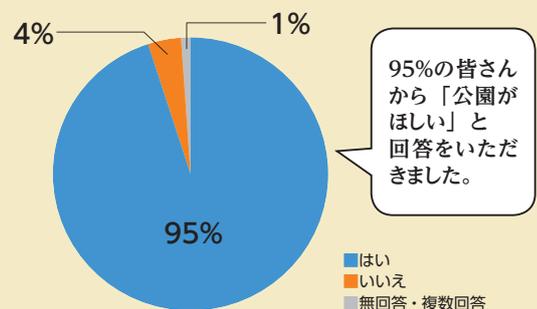
POINT 予算議案の否決とは？

町の事業は、事業内容をまとめその経費を明らかにした「予算議案」を議会にお認めいただくことで始めて進めることができます。

予算議案は、出席議員の過半数が賛成した場合に認められます。否決とは、賛成が過半数に達せず成立しないことを言います。

POINT アンケートの回答内容

■(質問) 現計画のような公園をつくっていききたいですか？



95%の皆さんから「公園がほしい」と回答いただきました。

《主なご意見》

- ・ボール遊びができる公園にしてほしい
- ・子どもを安心して見守るための日陰がほしい
- ・トイレを設置してほしい
- ・出入口や駐車場を使いやすいものにしてほしい

アンケートのご協力ありがとうございました！

地域の皆様の思いを形にするため、町は今後も公園整備の提案を続けます！